

常磐文藝

踊狂 (關伽井嶽樂師祭にて) 飯村 閑舟 御堂の圍み若人が蜩集 明陽の空色闇にいろざれば 善男善女の輪廻や踊り 點綴幾たりか榮わ焦らつ 趣向の輪喚、美聲の音頭合

神の心のねざらひ笑聲讚え 沖しあらんか想ひの魅力 吾心に質し來ん響の暗示 心は徹す森閑の睡草時 境も忘れの興がり踊り 大木の靄網掛りや雫垂る 感應の寸泌も夢答へ 踊る踊る明曉の日出まで 足の棒振り動きの鉛重げま

日染む薄明け方 踊り狂ひの人々散り放れ 顔に粧ひの白粉剥けむ 慰興や一夜の胸禁開く 踊りが園生の嬉々や 關伽井が祭りの夜

内科顧問 醫學博士 鈴木清藏先生 明七日出張診療 平町 磐城病院 電話一四番

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 平町長橋町三五 川崎回文庫 (冊次規規則書進呈)

大勉強販賣 砂利(コンクリート用) 中山岩採掘販賣 石造土木請負業 其他各種 迅速に配達致します 合資会社 石材商會 南町火見下 店主鈴木彌米

御注文品は 多少に拘らず 電話二七五番 御下命を乞ふ 平町二丁目横町 鮮魚物 大堀商店

建築ペンキ塗 美術諸看板 硝子金銀文字 其他各種 平町四丁目 大音堂

開業 喜樂團子 皿十五錢 喜樂すし 散廿五錢 出前は遠近に不拘 早速お届けします 女給募集す 平館前喜樂 電話呼出四番

建築材料 磐城セメント樽入 袋入 板ガラス各 壁用材料各 ペンキ塗各 種 種 種 西村屋藥舖 平町二丁目電話三番

草花種子入荷 『秋蒔の草花種子が澤山入荷 致しましたから 是非御覽下さい』 横濱植木會社特撰 スキートビ、カーネーション、ベチニヤ、 キンデラノト、パンジー、フロックス、 ゴアチヤ、キヤツチフライ、其他數十種 一袋拾錢

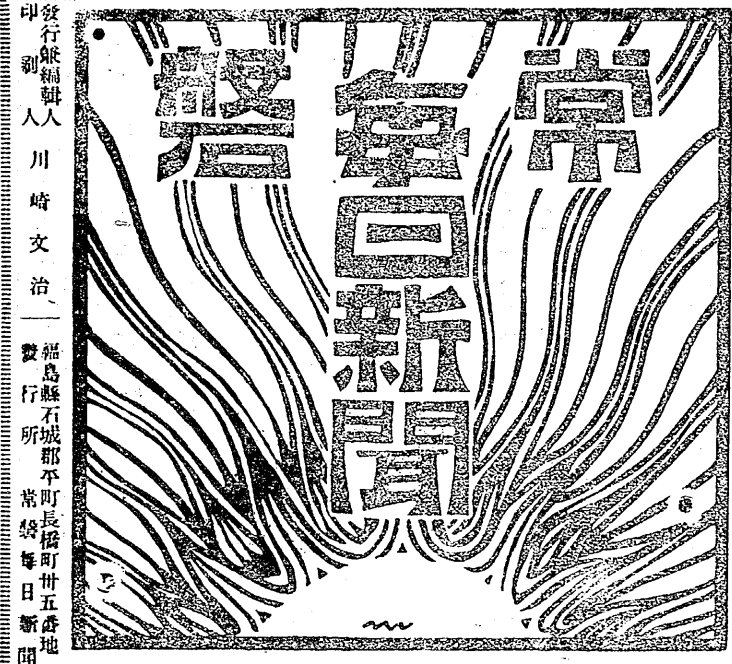
眞に是れ鬼に金棒! 耐火耐震耐久力の絶大なる 日本コンクリート鐵網 拔群優秀なる斯界の權威 磐城セメントを推奨す 最も經濟的に然も超越せる無比の良材 (施工説明書を進呈致します) 特約代理店 平町五丁目 和洋鋼鐵 金物問屋 久釜屋商店 電話園九番、一三九番

丸登株式會社 川添房二郎 平町田町 電話三三二番

株式賣買中値 電話に金融致し

Table with exchange rates for various banks and locations. Columns include bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行) and rates (e.g., 五〇〇, 五三、五).

丸登株式會社 川添房二郎 平町田町 電話三三二番



刊夕日六月九

熱誠 寄書 K I 生 人道の燃ゆる處、必らず熱誠の情がなければならぬ 職務に携はる際に浮調子の考案を周らす事は、怠慢よりも柔和な奈落へ導くものである、

愕みたるに將軍は直ちに答へ、否事皆心柄次第である 自心に興深く刻み、國家の爲めに榮根を嚼んで、國民の安寧を圖り劇戰奮闘死を賭する事は無限の歡喜を湧かし、軍士の發露であるとの意味を洩らした、

亦、熱誠は魂の注入所にある、繪畫にとても視眼、暗影、絨色總てが包括されて居ると假定しても濃眼者より見る際熱誠の單らぬ繪畫は何處となく缺點があるに相違ない此の緊急なる推測は繪畫に限定せず地方農村の發育に當りて益々熱誠の誇張を示し併せて墮性、疲弊に陥る事なく全般の自發的範示を要すべきである (完)

鬼が笑ふ來年の 町議選舉斥候戦が 今から早くも開始

級別撤廢はさうなるか
伊坂町長の胸中決せず
明年四月平町に行はれる町
會議員の選舉は選舉權も非
常に擴張される事であるか
ら猛烈な競争を見るに至る
であらうが、先般本紙が候
補者の顔ぶれを投書の儘掲
載した事等が

導火線

の、如く既に氣早の連中は
鬼の笑ふ來年の選舉準備
に着手し早くも斥候戦を開
始した模様も見えるから間
際になれば續出する候補者
雨後の竹の子の如く或ひは
曾つて無い混戦を呈するに
至るであらうと觀測されて
居るが茲に問題なのは選舉
法の

改正に

依り從來の
一級二級の級別を廢した一
律平等に依つて執行される
か或ひは特に級別を置くか
であつて伊坂町長も末だに
其事に就いては決心の臍を
固めず町會議員の中には級
別制を主張して居る保守派
もあるが町民多數の輿論と
しては

普選も

近く實現さ
れんとする今日であるから
斷然級別は是れを徹廢すべ
きであるといふ強硬論が多
數を占めて居る

江名補助申請

石城
郡江名町長中村元治外三名

三部に足を捕へられ同じく
深みに入り溺死に瀕せるを
附近小川へ馬洗ひに來た高
木勇が氣付いて駆け付け着
衣の儘飛び込み兩少年を救
ひ上げ種々介抱の上蘇生せ
しめたが勇は同村の模範青
年と稱され居り近く表彰さ
るゝ筈

屋上制限

平署管内の
平署にては火災豫防の爲め
屋上制限實施以來極力不燃
質物改革の督勵を爲しつゝ

突如物陰から

狂犬が飛び出した
野菜行商人に噛み付く
飼養主不明の黒犬

石城郡平窪村野菜行商人鈴
木留八は昨日午後六時頃處
用を終へての歸途平町舊城
跡を通行中突如畑中から黒
ブチの犬現れ同人の右足
に噛み付いたが右黒犬は狂
犬の疑あり直ちに應急手當
を受けたが急報に接し其筋
では急據警官を特派して黒
犬を搜索せしめたが何れへ
か逃走し殊に飼養者不明の
爲め其處置に窮して居ると

平町物價

品名	單位	價格
白米	一升	四〇〇
白米	二升	三〇〇
白米	三升	二〇〇
白米	同	三〇〇
白米	同	三〇〇
白米	同	三〇〇
味噌(並)	一貫目	七〇〇
味噌(並)	一升	七五〇
清酒(並)	一升	一、〇〇〇



家庭

ネクタイ洗濯法

汚れのひどくないものはベ
ンデンか揮發油を脱脂綿に
つけて、汚れた部分をよく
拭くだけでよいが、あ

あるが其結果頗る好成绩に
て現に屋上制限實行の組合
数は四十七組、加入者千六
十四人に達し未加入者は僅
かに百卅七人に過ぎないと
八十六頭を
食料に供す
平町附近で
一ヶ月間に
平署管内に於ける去月中の
屠畜は豚六十三、牛十、馬
九、總數八十六頭にこれ
等の肉を平町附近の人々が
食料に供したのであると

不平受付

不平受付
投書歓迎
構内を無斷通行 鐵道從
業員にあらざる人(某炭礦
に通勤)が現在の改札口か
ら出入せしに全然方向の異
つた北白銀鐵道員合宿所の
處より平町構内を横切りホ
ームに至つて乗車するもの
を見受けました差支へな
いのでせうか
(發見生)

空氣にあて、乾かし、よく
乾いたらブラッシュをかけ
そしてセラチン一枚を一合
の湯にとかした液をきり吹
きで裏から一面にふきかけ
白い布に包んで二三時間お
きますと全体に萬遍なく濕
りがつきますから、毛布の
やうな物の上に掛けてアイ
コンをかけるのです

を惹起しスイヨウリン酸若
しくはクヨウリン酸に
不足を 來たすこと
ありて調合肥料の原料とし
て使用する米糠は搗粉の含
量少なきものを選定しなけ
ればならぬため右の如く改
正したのであると

平公設市場は主として 他地方の卸し賣り

賣上書が立派な證據

平町公設市場は一種の個人
的營利事業と化し現に平町
に於ける小賣よりも寧ろ他
地方に對する卸し賣りが主
となり市價の調節に何等貢
獻する處がないとの批難は
屢々報道した處である爲め
に役場の監督も幾分嚴重に
なつた模様であるが現に去
月中の賣上高を調査するに
貫量八千八百九十二貫、此
金額實に千六百六十圓五十
錢に達し此内炭礦方面への
賣上は五百五十二圓九十

四錢、相馬双葉田村方面へ
は七百五十八圓八十六錢に
て平町には三百四十八圓七
十錢に過ぎないから是等の
數字が立派に同市場の他方
面へのみ販路を伸ばさん事
に努め且つソロ盤勘定に餘念
なく全然公設市場本來の責
務を没却して居る事が證據
立てる

調合肥料 制限を糠米

本縣では調合
肥料の原料と
して使用する
き米糠の制限
に關しては窒
素全量一五バ
ーセント燐酸

成分含有のものに限り認可
してあつたが今回更に米糠
を配合し水溶燐酸若しくは
水に溶解せずして枸橼酸安
母尼亞液に溶解する燐を

を惹起しスイヨウリン酸若
しくはクヨウリン酸に
不足を 來たすこと
ありて調合肥料の原料とし
て使用する米糠は搗粉の含
量少なきものを選定しなけ
ればならぬため右の如く改
正したのであると

平町人事

- ▲出生
立石三郎氏長女貴美
△初原澤 木村喜八氏二男正行
△南町 加藤一之氏長男榮一
- ▲死亡
△四軒町 緑川光一(七七)
△紺屋町 武井時子(一七)